

図書館ワークショップ「ブックハンティング」を開催しました!

YOUR LIBRARY

WINTER ISSUE 2012.12.18 no.22

池袋図書館 ここが「いいね!」

Take Free

昨年度から新たに始まった「ブックハンティング」。今年度も、ジュンク堂書店・池袋本店さんのご協力を得て開催しました。

ブックハンティングという「買いたい本を、書店で選んで買う」だけだと思われがちなのですが… このワークショップは、それだけではありません! では、どのような事をやるのかをご紹介します。

①テーマを1つ決め、それにもとづいて選書する。

A → 1つのテーマを3冊の本で表現する。

B → 1つのテーマを2つの切り口から5冊で表現する。

5冊を2冊+1冊+2冊と分け、2冊+1冊=3冊を2組作成し、より多角的にテーマを表現する試み。

②選書した本に添えるポップを作成する。

③本とポップを使ってプレゼンテーションをする。

参加者全員がこのようなワークショップは初めて参加するとのことで、最初は緊張気味だったのですが、本探し、ポップの作成、プレゼンテーションと進むにつれて、堅さがほぐれ活発にやりとりが交わされていました。



女の子が多かったので小説が多く集まるかと思っていたのですが、意外と様々なジャンルの本が集まったので新鮮でした。もっと頻繁にできればいいと思います。

もう1回やりたいというか、複数のPOPをつくってみたいなーと思いました。
文学部ばかりだと思っていたので、色んな視点から本を見て楽しかったです。

参加者の感想より

いつも書店に行くとき、用もなく2~3時間いるので、時間を区切って「本を選ぶ」というのが面白かったです。また、テーマに沿って本を選ぶ・読むということはないので、そういった点においても魅力的でした。誰かのオススメ本を聞ける、というのも今後の読書の参考になります。

前回は日程が合わず参加できなかったのですが、今日は参加できて良かったです。おもしろかったです!
初対面の人々と本を通して交流するのはもちろん、階を上下する参加者の学生とすれ違う度、重大なヒミツを互いに見せまいとしていたので発表が楽しみでした。
5冊はよければりすぎた気もしますが、満足です。

選ばれた本とポップはポスターにアレンジして、池袋図書館1階総合カウンター向かいにある新着本コーナーと新座図書館1階OPAC横に掲示しています。また、図書館ウェブサイトでも紹介しています。

Your Library 第22号(通号81) 発行日 2012年12月18日

編集 井川 充雄(図書館副館長) <http://www.rikkyo.ac.jp/research/library/>
発行人 石川 巧(図書館長) 連絡先 TEL 03-3985-2630
発行 立教大学図書館

立教大学図書館モバイルメニュー

- 1 蔵書検索
- 2 開館スケジュール
- 3 図書館設置PC利用状況の確認
ができます。



『ブックハンティング』を 開催しました!

池袋図書館

ここが

いいね!

感想を
書いてみました!

11月7日、池袋図書館の地下フロアがオープンし、ついに全館オープンとなりました。学生の皆さんが池袋図書館のさまざまな場所を早速活用していますが、その中でもお気に入りの場所を教えてくださいました。

閲覧席



2階の閲覧席は窓から見える景色がすごく素敵です。まるで絵本に出てきそうなツタの建物（ライフスナイダー館）が正面に見える西側の席が、私のお気に入りの場所です。特に晴れている日だと日光があたって、外で読書しているような気分になるので、すごくリフレッシュした気分になります!

(経営学部 2年 古閑 みなみ)

グループ学習室



ゼミのミーティングで利用しています。

空いていれば当日でも予約なしで利用できて、延長も可能なので自分たちの活動に合わせて利用できます。

文献を調べるだけでなく、議論もできる場所として、今後も図書館を利用していきたいです。

(法学部 2年 江藤 由樹)

新聞・ 軽雑誌コーナー

雑誌を読みながら知識を吸収したり、ガイドブック片手に旅行へ思いを馳せたり…。地下1階への階段脇のイスに座って、ぼんやりしている時間が好きです。混雑していることがないのでリラックスできます。雑誌も取り出しやすく、探しやすくなったので重宝しています!

(法学部 4年 多村 萌)



テラス

図書館で勉強に疲れたとき、3階のテラスで一息つくのが最高に心地よいです。コーヒーをちびちび飲みながら気力回復しています。閉館間際まで頑張ったあとに誰もいないテラスで風に当たりながら、静かな達成感に浸っています。

(法学部 2年 小口 雄大)

地下2階集密書庫

3階から地下1階まで天井が高く広々とした新図書館ですが、「地下2階」が存在することをご存知でしたか?

静かでごんまりとした書庫に入ると、別世界に迷い込んだようで胸がどきどきします!

こんな風に探検気分図書館内を巡るのも、思いがけず素敵な本に出会うきっかけとなるかもしれません。

(異文化コミュニケーション学部 4年)



ロフト書架

地下1階のロフト書架に上ったことはありますか? 私はここにある、世界や宗教に関する本にとっても興味があります。

たとえばアムネスティ・インターナショナル日本から出版されている『世界の人権』という本や、アメリカの現代文化をまとめた『American POP』シリーズ、北欧、イタリア、ドイツ、フランスのカントリーサイドの風景写真集などです。様々な角度から世界を見つめてみたい方は是非一度足を運んでみてください。また、ロフトの上からは地下1階の広い範囲が見渡せるので、今まで気付かなかった閲覧スペースや、お気に入りの場所が発見できるかも。

(法学部 2年 鈴木 みちる)

